

ボーイスカウト豊中第20団カブスカウト隊

かつ どう ほう こく
活 動 報 告

2011年6月

日本ボーイスカウト豊中第20団
カブスカウト隊

5月8日 鞍馬ハイク

前回の嵐山ハイクに続いて京都ハイクの第二弾。今日は鞍馬から大原まで歩きます。電車での移動時間が長いため、今回は叡山電車出町柳駅から課題がスタート、スカウトは電車に乗りながら課題を解きます。

叡山電車出町柳駅 → 鞍馬駅

電車の中では、社内アナウンスや沿線にある鉄道施設から課題が出題されます。スカウトたちは、アナウンスを聞く係や沿線を観察する係など役割を分担して課題に取り組みます。

鞍馬 → 静原

鞍馬駅までの課題を先に解いた組から出発。東海自然歩道を通り、地図と写真を頼りに静原を目指します。早速道に迷った組もありましたが、なんとか東海自然歩道を発見し、静原へ向かいます。静原は歴史を感じさせる美しい集落です。スカウトたちは景色を楽しみながら進みます。

静原 → 大原

静原を離れ、大原へ向かいます。途中田んぼの中にある三角点を探し、江文峠を超えて大原へ向かいます。大原では、蛇になった「おつう」が退治され、胴体が埋められた場所を探すのが課題です。そして大原バス停へ到着。次回は、大原の東にある山を越え、ついにゴールの滋賀県へ向かいます。



2組は課題の三角点を発見



個人賞はいつものカブのミニホルダと今回は特別に「鞍馬の天狗」です。

表彰

1組: 98点

2組: 88点

3組: 84点

⇒ 優勝組 1組

個人賞(歩測)

升田貴之

三木 哲

5月29日 育成会行事 バーベキュー

5月29日は育成会行事「バーベキュー」の予定でしたが、季節外れの台風のため延期になりました。延期後の開催日はまだ決まっていますが、秋ごろになるようです。ということで、書くことがないので育成会の役割を紹介をします。

日本連盟規定集より

- 教育規定6-3 育成団体は、教育、宗教、社会奉仕、体育、商工及び地域等の団体あるいは特にスカウト教育のために組織された成人の団体で奉仕の精神をもって団を設立し、かつ、その存続を維持し、また教育に必要な施設と経費に責任を負う。
- 教育規定6-6 育成団体は、スカウトの保護者などのうちから5人以上（団内に隊が1個の場合は3人以上）の団委員を専任し、団委員会を構成しなければならない。
- ②省略
 - ③育成団体の代表者は、職責上団委員となる。

豊中第20団規約

第7条(団委員) 団委員は育成会代表者と前年度団委員長が協議の上委嘱する。団委員は5名以上からなり、財務、健康安全、行事、組織拡張、指導者育成、進歩、広報、環境、団務などの任務を担当する。育成会代表者は職責上団委員となる。

豊中第20団育成会会則

- 第3条(目的) 本会は、豊中第20団の育成、援助並びにスカウト運動の普及を図ることを目的とする。
- 第5条(会の事業) (1)本会は、奉仕の精神をもって団を援助・維持・発展させる。
(2)スカウトの教育に必要な施設、器具などの確保並びに財源に対して責任を負う。

山中育成会長からのメッセージ

育成会は、団の設立母体であり、団を維持発展させ、スカウトおよびスカウトの成長のために活動する各隊・団を支えるのが役割です。
保護者一人一人が育成会員ですので、育成会活動に積極的なご協力をお願いします。

5月度 チャレンジ章受章



- 今村知愛 : 画家・友情
永坂知大 : 天文学者
段中玲慈 : 災害救助・収集家・音楽家・国際
滝 雄大 : チームスポーツ
西アキ : 救急博士
佐藤幹太 : 災害救助

おめでとう!